

青山委員からのご意見

(1) 専門医の養成と一般小児科医の研修の必要性

大都会は別として、地方には「小児精神科」を専門とする医師が少ないため、何かあったときに相談できない状況にあります。また、どこを受診すればいいのか、どこに専門医がいるのか、分からないことが多いように思います。

「専門医」を多く、といってもそれは難しいと思いますので、心の問題や発達障害等について一般の小児科でもみていただけるよう、研修等お願いしたいと思います。

(2) 「子どもの心の診療」地域医療連携システムの構築

(1)に関連しますが、一般の小児科でみていただき、更に精密検査等が必要だったり、治療が必要である場合、そこからスムーズに中央の病院に受診できるようなシステムがほしいと思います。

(3) 「子どもの心の診療」専門チームの派遣

保育所あるいは幼稚園などで、発達障害等が疑われる子がいる場合、要請があったときにチームで訪問して実際に生活している場面を観察した方が、受診させるより、より正確に状態を把握できると思います。そこで、いろいろ情報を収集したり、確認したりできるのではないかと思います。

また、災害や子どもの心に大きく影響を及ぼすようなことが起きた場合、間をいれずにチームですぐ訪問するなり、何らかの対応ができるシステムがあるといいと思います。